

1 松尾芭蕉像

平成27年3月、「奥の細道千住あらかわミット」の開催を記念し、「矢立初め地あらかわ」のシンボルとして、南千住駅西口駅前広場に建立した。プロダクト製の松尾芭蕉像は、平野千住氏（彫刻家・荒川区顧問、菓子満氏・荒川区指定無形文化財保持者・製造）の企画・協力を得て制作されました。



3 金子兜太句碑

荒川千住
芭蕉主従に
花の春

「俳句のまちあらかわのシンボル」として、平成29年3月に建立しました。荒川区長との対談の場で金子兜太氏が詠んだ句が刻まれています。
【場所】荒川区文化センター・俳句館
【建立】平成29年（2017年）



2 松尾芭蕉句碑

行はるや
鳥啼魚の
目ハなみた

「おくのほそ道」の一節と芭蕉像が刻まれています。この句は、旅の初めに詠んだ矢立初めの句です。過ぎ行く春、見送る人々との別れを惜しむ心を表した句で、江戸時代、千住に集う文人たちにより建立されました。
【場所】素盞神社南千住6-60-1
【建立】文政11年（1820年）
※区指定有形文化財



投句箱

区内各地20ヶ所に、投句箱を設置しています。年々4回開催する、あらかわ俳壇への投句の際にぜひご利用ください。



松山市観光俳句ポスト

正岡子規や夏目漱石の作中に登場する日暮里の羽二重団子に、子規や漱石ゆかりの地である、豊後県松山市の観光俳句ポストを設置しています。投句された俳句は、定期的に松山市で選句され、入選句は松山市のホームページなどで公開されています。



4 現代俳句センター

現代俳句協会からの寄贈本を始め、外国の俳句資料や、80を超える俳誌をそろえています。平成31年3月、ゆいの森あらかわ開館2周年を記念して、現代俳句センターに俳人でもある有馬朗人氏の関連書籍を配架した「有馬文庫」が誕生しました。



地域図書館俳句特別コーナー

各図書館に俳句特別コーナーを設置しています。南千住には松尾芭蕉と奥の細道関連、日暮里には正岡子規関連の書籍をそろえています。

【場所】南千住図書館 町屋図書館 尾久図書館 日暮里図書館



8 西山宗因句碑

（談林派源流の句碑）

江戸をもつて鑑とす也
花に樽

談林派二世井原西鶴の百回忌にあたり建てられました。宗因は談林派初祖で、設立以来豊福寺に建てられ、その都度建てられた談林派の句碑がほかにも多数残っています。



俳句タイル・俳句シート

荒川区にゆかりのある俳人の句を印刷した「俳句タイル」及び「俳句シート」を、荒川自然公園や町屋駅前など、区内13ヶ所に設置しています。



5 正岡子規句碑

芋坂も
団子も月の
ゆかりかな



6 種田山頭火句碑

ほつと
月がある
東京に来てゐる



7 小林一茶句碑

陽炎や
道灌どのの
物見塚



あらかわ俳句マップ

Arakawa Haiku Map